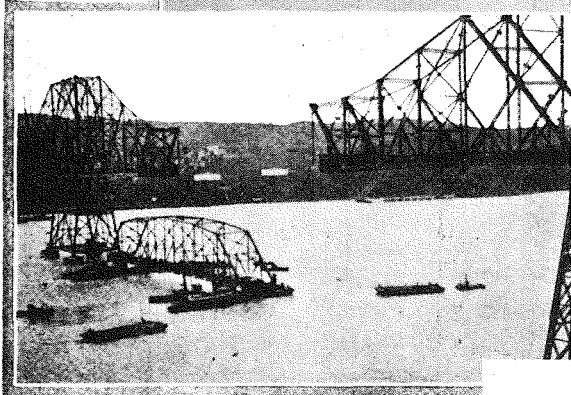
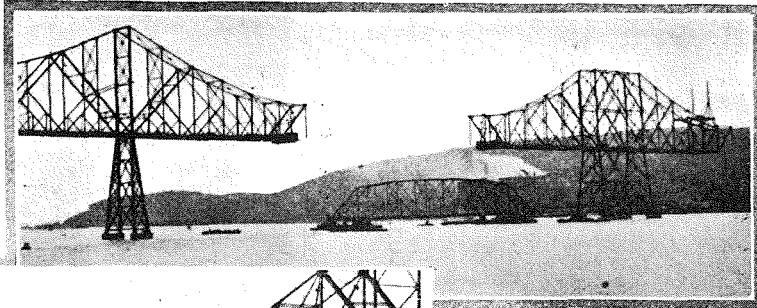
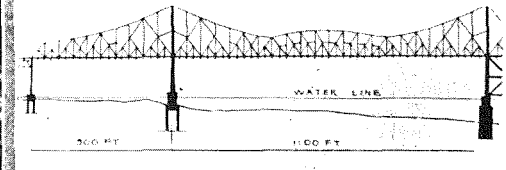


橋桁架設にカウンターウエイトの利用

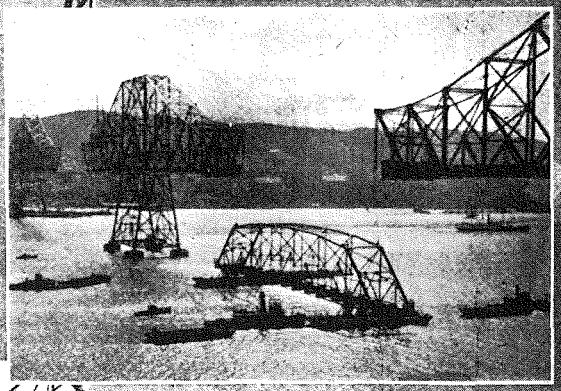


↑(1) 2 臺の鋼製臺船の上に各 4 臺の水壓ジャッキで懸吊桁を受けて架設現場に到着した處である、ジャッキは能力各 500 噸のもの。



↑(2) 臺船で運んで來た桁を處定の位置に引上げる準備に着手した、午前 11 時 30 分寫。

(3) 一時間後の 12 時 30 分にはサンドル臺から外してカウンターウエイトに連続してをるワイヤーロップを桁に取付け吊上げ準備中。



←(4) 午後 2 時 30 分には 750 噸の構桁を臺船から吊上げつつある處で、上の桁の端に黒くカウンターウエイトが下り初めたのが見える。

750 噸の懸吊桁を大なるカウンターウエイトの装置を利用して四時間で吊上げた。

北米サンフランシスコ附近のカークイズ海峡に架設せる國道橋の懸吊桁架設工事、本年 3 月 3 日の撮影で工事擔當者フイリッブセーヤー氏が 50 枚の寫眞の中より。(Construction Methodより)

